

### 4・5 大気騒音科

昭和57年度におこなった試験検査は、表1のとおりである。

表 1 試験検査実施状況

事業名	行 政		依 頼		自 か ら		計	
	件 数	項目数	件 数	項目数	件 数	項目数	件 数	項目数
大 気 汚 染 監 視	4,319	101,782					4,319	101,782
大 雪 道 排 ガ ス 測 定	20	112	5	7	2	7	27	126
重 油 中 の 硫 黄 分 析	200	200					200	200
自 動 車 公 害 調 査	604	2,016					604	2,016
悪 臭 調 査	35	258	43	105	68	171	146	534
騒 音 ・ 振 動 調 査			5	5	61	407	66	412
放 射 能 調 査	553	9,558			61	177	614	9,735
そ の 他	91	123					91	123
計	5,822	114,049	53	117	192	762	6,067	114,928

#### 4・5・1 大気汚染監視

本年度も、当所に設置されている自動測定局を運用して、SO<sub>2</sub>、NO、NO<sub>2</sub>、CO、O<sub>x</sub>、NMHC、CH<sub>4</sub>、SPMおよび気象要素(W<sub>D</sub>、W<sub>S</sub>、T<sub>emp</sub>、H<sub>um</sub>)の測定を実施した(表2)。

これらのうち、環境基準が定められているSO<sub>2</sub>、NO<sub>2</sub>、CO、O<sub>x</sub>およびSPMの中で、環境基準を超えたものはO<sub>x</sub>のみであった(表3)。

また、それぞれの物質の変動についてみると、SO<sub>2</sub>、NO、NO<sub>2</sub>、COおよびNMHCの1時間値は、年間を通して、朝夕の車ラッシュ時に高値を示す2峰性の日内変動があり、月平均値は冬期に高い傾向を示した。SPM、O<sub>x</sub>の1時間値の月平均値は、春期に高かった。CH<sub>4</sub>は、年間を通して大きな変動は認められなかった。

表 3 環境基準を超えた物質と回数

物質名	基準	月					
		4	5	6	7	8	
光化学オキシダント	1 時間 値	35 時 間	33 時 間	11 時 間	8 時 間	0	
	0.06 ppm 以下	( 8 日 )	( 7 日 )	( 2 日 )	( 2 日 )		
9	10	11	12	1	2	3	計
0	0	0	0	0	0	0	87 時 間 ( 19 日 )

表 2 大 気 汚

物質名		月					
		4	5	6	7	8	9
SO <sub>2</sub> ppb	月平均値	4.9	5.2	5.0	4.7	4.5	4.1
	日平均値	2.2~9.8	2.1~9.5	2.4~7.7	2.9~7.7	2.3~7.6	2.2~5.7
	1時間値	1~25	1~29	2~25	2~25	0~21	1~19
NO ppb	月平均値	1.5	1.0	0.6	1.3	2.2	2.6
	日平均値	0.3~4.1	0.3~2.5	0.1~1.2	0.5~3.0	1.0~5.1	0.3~5.5
	1時間値	0~17	0~13	0~7	0~15	0~15	0~34
NO <sub>2</sub> ppb	月平均値	7.6	5.9	5.5	6.2	5.4	7.4
	日平均値	2.7~13.8	2.5~9.8	1.9~8.1	3.7~9.7	2.1~11.7	1.6~15.9
	1時間値	0~33	0~32	1~25	1~20	0~21	0~30
NO+NO <sub>2</sub> ppb	月平均値	9.1	6.9	6.1	7.4	7.6	10.0
	日平均値	3.0~16.2	2.8~12.3	2.0~8.8	4.7~11.0	3.1~14.9	2.0~20.0
	1時間値	0~44	0~38	1~32	1~30	0~35	0~50
CO ppm	月平均値	0.43	0.40	0.35	0.36	0.35	0.38
	8時間平均値	0.29~0.78	0.20~0.99	0.20~0.60	0.20~0.65	0.13~0.81	0.16~0.85
	1時間値	0.2~1.3	0.2~3.1	0.2~0.9	0.2~1.1	0.1~1.2	0.1~1.6
Ox ppb	最高1時間値* の月平均値	59.1	54.5	50.4	42.7	25.3	30.3
	日平均値*	29.7~64.3	14.7~65.6	24.5~57.2	13.5~53.5	7.3~28.1	8.2~37.9
	1時間値	10~81	2~84	4~71	0~70	0~43	0~42
NMHC ppmC	月平均値	0.237	0.264	0.352	0.385	0.306	0.258
	日平均値	0.113~0.379	0.135~0.353	0.185~0.617	0.233~0.696	0.216~0.456	0.107~0.402
	1時間値	0.08~1.64	0.10~0.95	0.11~1.58	0.11~1.41	0.09~1.28	0.09~0.85
CH <sub>4</sub> ppmC	月平均値	1.873	1.999	2.184	2.225	2.080	2.036
	日平均値	1.830~2.002	1.850~2.179	1.997~2.423	2.011~2.483	1.900~2.188	1.871~2.148
	1時間値	1.75~2.21	1.75~2.71	1.82~3.35	1.86~3.08	1.72~2.74	1.80~2.56
THC ppmC	月平均値	2.110	2.263	2.536	2.611	2.386	2.295
	日平均値	1.984~2.293	1.986~2.531	2.182~3.040	2.244~3.179	2.155~2.592	1.978~2.503
	1時間値	1.93~3.55	1.94~3.66	1.93~4.93	2.00~4.49	1.83~3.76	1.92~3.33
SPM μg/m <sup>3</sup>	月平均値	27.9	25.5	28.7	26.0	23.1	21.7
	日平均値	16.7~59.2	9.4~47.6	10.5~63.7	10.3~46.1	7.1~39.2	9.8~51.2
	1時間値	4~103	4~148	5~133	3~97	3~84	2~103
WD	最多風向	SSE	SSE	SE	SSE	SSE	SSE
Ws m/s	月平均値	3.71	3.19	2.63	2.96	2.71	2.80
	最多風速 範囲	1.1~2.0	2.1~3.0	1.1~2.0	1.1~2.0	1.1~2.0	2.1~3.0
Temp °C	月平均値	11.26	17.03	18.69	21.88	23.72	18.88
	日平均値	6.28~18.35	12.01~22.49	14.61~21.15	17.22~25.28	20.95~26.86	15.78~23.12
	1時間値	1.1~23.1	6.7~26.9	11.6~27.0	12.5~29.8	18.4~31.7	12.2~26.1
Hum %	月平均値	69.1	70.7	74.0	78.0	78.7	77.9
	日平均値	47.6~90.3	50.2~92.0	48.6~88.8	64.1~87.3	63.5~92.0	56.7~91.3
	1時間値	17~96	20~94	22~93	42~92	43~95	46~94

\* 昼間時間についての値

染 測 定 結 果

10	11	12	1	2	3	年 間
4.4	3.8	7.0	8.0	7.0	5.3	5.3
2.4~6.5	2.0~9.3	3.4~13.0	1.5~18.2	2.8~19.0	1.5~13.0	1.5~19.0
2~31	0~26	1~45	1~54	1~59	1~48	0~59
3.5	5.8	6.0	6.5	4.8	3.4	3.3
0.8~7.8	0.8~15.0	1.1~14.5	0.8~36.5	0.7~20.1	1.0~12.1	0.1~36.5
0~48	0~56	0~87	0~130	0~99	0~62	0~130
8.9	10.9	11.7	11.2	9.5	9.4	8.4
1.8~13.3	2.8~17.1	4.5~16.8	1.9~27.9	2.3~25.5	3.3~18.3	1.6~27.9
0~42	0~37	0~38	0~58	0~47	0~44	0~58
12.5	16.8	17.7	17.7	14.3	12.8	11.7
2.5~20.0	3.6~29.7	5.7~29.5	3.5~64.4	2.9~45.6	4.3~30.4	2.0~64.4
0~71	0~80	0~121	0~168	0~140	0~106	0~168
0.44	0.50	0.53	0.55	0.50	0.47	0.44
0.20~0.95	0.20~1.09	0.21~1.35	0.20~1.75	0.23~1.73	0.25~1.05	0.13~1.75
0.2~1.7	0.2~2.1	0.2~2.9	0.2~3.5	0.2~3.6	0.2~2.1	0.1~3.6
35.8	34.4	34.2	35.5	38.3	48.2	40.7
10.7~33.7	3.7~38.0	12.1~36.1	8.7~37.3	8.8~41.0	23.2~49.3	3.7~65.6
0~52	0~49	0~47	0~45	1~53	4~61	0~84
0.269	0.264	0.255	0.206	0.257	0.203	0.280
0.150~0.406	0.108~0.449	0.096~0.379	0.077~0.465	0.113~0.783	0.125~0.323	0.077~0.783
0.06~1.30	0.06~1.35	0.04~1.83	0.04~1.33	0.06~2.80	0.06~0.70	0.04~2.80
1.984	1.893	1.889	1.887	1.859	1.855	1.997
1.871~2.243	1.831~1.936	1.849~1.933	1.849~1.907	1.840~1.879	1.829~1.866	1.829~2.483
1.82~2.65	1.79~2.09	1.81~2.01	1.80~1.99	1.81~2.00	1.71~2.10	1.71~3.35
2.252	2.157	2.143	2.093	2.115	2.059	2.277
2.075~2.640	1.994~2.343	2.010~2.257	1.956~2.369	1.963~2.661	1.983~2.183	1.956~3.179
1.93~3.53	1.90~3.26	1.91~3.70	1.90~3.29	1.92~4.74	1.91~2.64	1.83~4.93
30.3	25.4	25.2	23.9	21.6	25.0	25.4
9.8~62.4	12.4~39.2	9.9~41.5	7.0~65.9	10.4~49.5	11.9~54.3	7.0~65.9
3~175	4~110	7~101	5~135	6~102	6~126	2~175
SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE
3.11	3.01	3.35	3.52	3.57	3.74	3.18
2.1~3.0	2.1~3.0	2.1~3.0	2.1~3.0	2.1~3.0	1.1~2.0	2.1~3.0
14.97	11.61	6.20	3.35	2.48	6.18	13.07
7.60~18.31	6.40~15.93	2.35~12.11	-1.28~8.34	-2.09~6.57	1.16~13.33	-2.09~26.86
5.0~23.0	3.0~18.9	-0.2~16.9	-4.3~13.1	-3.2~11.4	-1.5~18.0	-4.3~31.7
74.5	75.6	71.5	77.2	72.5	75.4	74.6
63.0~88.7	54.4~92.6	57.8~93.6	58.6~89.9	53.0~92.8	51.5~90.5	47.6~93.6
29~94	33~94	36~97	31~100	27~98	24~98	17~100

## 4・5・2 煙道排ガス測定

行政および委託による、事業場等における煙道排ガスの測定結果は、表4に示すとおりである。

このうち、煙突上部に集じん装置（効率不明）があり、集じん装置後の測定が構造上不可能であったので、集じん装置前で測定したところ、ばいじん濃度が $0.33 \text{ g/m}^3\text{N}$ を示し、集じん装置の効率によっては問題となる施設（B重油ボイラー）が一つあった。なお、この施設では、排ガス中の $\text{O}_2$ 濃度が1.3%の低値を示し、不完全燃焼が考えられるので、燃焼方法の改善を指示した。

その他の施設では、排出基準の定められている項目は、いずれも基準値以下であった。

表 4 煙道排ガス測定結果

施設	項目	n	ばいじん	$\text{SO}_x$	$\text{NO}_x$	HCl	$\text{O}_2$	温度	平均流速	水分量	On値
			$\text{g/m}^3\text{N}$ ( $\text{g/m}^3\text{N}$ (On)) <sup>*1</sup>	K値 <sup>*2</sup> (ppm) <sup>*3</sup>	$\text{cm}^3/\text{m}^3\text{N}$ (ppm) <sup>*3</sup>	$\text{mg/m}^3\text{N}$ (ppm) <sup>*3</sup>	%	°C	m/s	%	
ごみ焼却炉	バッチ式	n	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		R	0.00 (0.01)	0.4 (90)	60 (50)	150 (80)	13.6	235	4.1	36.0	
	連続式	n	1	1	1	1	1	1	1	1	
		R	0.08 (0.12)	0.2 (60)	120 (80)	70 (30)	15.0	236	18.2	21.8	
アスファルトプラント (A重油)	n	3	2	3		3	3	3	3	16	
	R	0.09~0.11 (0.08~0.19)	0.0, 2.4 (Tr, 120)	10~30 (20~60)		13.6~ 17.6	90~ 111	10.5~ 14.5	7.7~ 14.1		
ボイラー	木屑	n	2		2		2	2	2	2	6
		R	0.20, 0.24 (0.78, 0.87)		70, 270 (20, 80)		16.6, 16.8	158, 178	4.5, 10.4	2.4, 6.4	
ボイラー	A重油	n	6	2	6		6	6	6	6	4
		R	0.00~0.21 (0.00~0.34)	0.5, 2.5 (190, 370)	50~90 (30~50)		5.4~ 14.3	157~ 337	1.3~4.9	4.8~ 11.1	
ボイラー	B重油	n	5	4	5		5	5	5	5	4
		R	0.04~0.33 (0.05~0.29)	2.9~6.7 (450~1,110)	90~160 (70~120)		1.3~ 12.5	175~ 240	2.8~9.5	2.8~ 12.0	
ボイラー	C重油	n	3	3	3		3	3	3	3	4
		R	0.13~0.15 (0.14~0.38)	2.3~10.0 (380~710)	60~140 (60~80)		4.2~ 14.0	171~ 249	2.2~ 12.1	6.7~ 10.2	

注) n：測定数、R：範囲、\*1：On換算値、\*2：鳥取県のK値は17.5、\*3：実測値

4・5・3 重油中の硫黄分析

行政検査として、保健所が収去した重油について、r線吸収法により硫黄分を測定した。

測定結果は、表5に示すとおりである。これ以外に、収去されたものの中に、魚油、廃油、精製油およびこれらと重油の混合物が7件あったが、上記方法では分析不能のため測定しなかった。

表5 重油中の硫黄分析結果

種類	検体数	S 分 W t %	
		範囲	平均値 ± σ
A 重油	118	0.35 ~ 1.02	0.80 ± 0.14
B 重油	49	1.34 ~ 2.15	1.84 ± 0.15
C 重油	26	1.81 ~ 2.40	2.07 ± 0.14
合計	193		

4・5・4 鳥取市における一酸化炭素濃度

自動車排ガス測定のため、昨年度に引き続き、鳥取市内の2定点で自動測定器による一酸化炭素の測定をおこなった。なお、7月までは測定器故障による欠測が多かったので、8月から測定器を更新して測定した。

結果は表6のとおりで、いずれも環境基準値以下であった。

表6 鳥取市内の一酸化炭素濃度 (1時間値ppm)

地点	項目	月												年間
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日セ 交ン 旅夕 行)	範囲	0.4 6.3	-	0.6 5.2	-	0.4 6.4	0.1 6.4	0.4 10.5	0.8 9.4	0.6 8.5	0.5 5.4	0.7 13.0	0.6 5.6	0.1 13.0
	日平均値	2.3	-	2.5	-	2.8	2.3	3.0	3.6	3.5	2.3	5.5	2.3	3.0
	8時間平均値 の最高値	2.8	-	3.1	-	3.4	3.5	4.8	4.9	4.9	3.2	8.0	3.5	8.0
東部 自動車 学校	範囲	-	-	-	-	0.3 5.3	0.3 3.5	1.0 3.4	0.3 5.0	0.3 2.6	0.3 3.6	0.3 3.4	0.2 2.4	0.2 5.3
	日平均値	-	-	-	-	2.2	1.6	2.0	1.7	1.3	1.4	1.6	1.3	1.6
	8時間平均値 の最高値	-	-	-	-	3.7	2.4	2.5	2.1	1.8	2.5	2.3	1.8	3.7

(注) - : 測定器故障のため欠測

#### 4・5・5 四市における自動車公害実態調査

鳥取市6カ所、倉吉市3カ所、米子市6カ所および境港市3カ所の主要道路沿線で、自動車公害の実態調査を実施した。

##### A 測定方法および使用機器

一酸化炭素濃度は24時間連続、その他の項目は8、10、12、14および16時の5回、次の機器と方法により測定した。

自動車通過台数：測定時を中心として、10分間の通過台数

騒音：NA-07A（リオン）とLR-01D（リオン）を使用し、JIS Z 8731によった。

振動：VM-12A（リオン）とLR-03（リオン）を使用し、振動規制法施行規則の定めるところによった。

浮遊粉じん：P-3（柴田）を使用した。

一酸化炭素：エコライザー2600（東京エレクトロン）とデジタルプリンターDP41（日本電子科学）を使用した。

##### B 調査結果

調査結果の概要を表7および表8に示す。

騒音：各測点とも、自動車騒音の限度以下であったが、環境基準に適合したのは、鳥取市の県庁前と境港市の山陰合銀境港支店前の2地点のみであった。

振動：各測点とも、道路交通振動の限度を10dB以上下回る値であった。

一酸化炭素濃度：各市とも、1時間値の1日平均値および8時間平均値の最高値は、環境基準値のそれぞれ11～25%、12～16%であり、問題となる値はなかった。

表7 4市における自動車公害調査結果(1)

一酸化炭素濃度

(単位：ppm)

市名	測定地点名 (測定月日)	所在地	1時間値の 最高値	1時間値の 1日平均値	1時間値の8時間 平均値の最高値
鳥取	日交旅行センター前 (6月4日)	末広温泉町	5.2	2.5	3.1
倉吉	打吹駅前 (7月15日)	明治町	3.3	1.5	2.4
米子	中国電力前 (6月9日)	加茂町	2.2	1.2	1.3
境港	鳥銀境港支店前 (6月11日)	上道町	1.8	1.1	1.5

表8 4市における自動車公害調査結果(2)

市名	測定場所	測定年月日	自動車通過台数 (10分間) ( )は大型車		騒音レベル 中央値 dB (A)		振動レベル 80%上端値 dB		浮遊粉じん量 (mg/m³) ※※	
			最低～最高	平均	最低～最高	平均	最高～最低	平均	最高～最低	平均
鳥取	鳥取駅前	57 . 6 . 4	53～82※ (6)～(10)	71※ (8)	65～68	67	42～50	46	ND～0.01	Tr
	日交旅行センター前		68～91※ (1)～(9)	78※ (5)	68～71	70	47～49	48	ND～0.01	Tr
	大村薬局前		45～74※ (0)～(1)	61※ (0)	65～67	66	41～46	44	ND～0.01	Tr
	鳥取警察署付近 (山陰シャープ前)		212～348 (26)～(33)	283 (29)	68～72	70	44～47	45	ND～0.01	Tr
	県庁前		112～161 (11)～(24)	145 (18)	62～66	64	44～52	47	ND～0.01	Tr
	面谷外科前		165～204 (15)～(21)	183 (17)	67～68	68	48～50	48	0.01	0.01
倉吉	打吹駅前	57 . 6 . 9	69～108 (3)～(12)	94 (7)	69～72	70	40～48	43	0.01～0.02	0.01
	倉吉駅前通り		196～438 (9)～(22)	258 (16)	65～73	68	42～52	49	ND～0.05	0.01
	宮川町ロータリー		123～234 (5)～(9)	190 (7)	67～70	68	47～50	48	0.01～0.04	0.01
米子	米子駅前	57 . 6 . 8	105～133 (2)～(5)	117 (4)	67～69	68	47～54	50	0.01～0.02	0.01
	中国電力前		216～284 (25)～(38)	256 (33)	71～72	71	49～54	51	0.01～0.03	0.01
	明治生命前		202～357 (25)～(41)	302 (31)	71～75	73	51～54	52	0.01～0.03	0.01
	鳥銀米子支店前		150～321※ (7)～(13)	205※ (12)	69～71	70	48～51	50	0.01～0.02	0.01
	消防署付近(理髪店 ダウンタウン前)		98～143※ (5)	127※ (5)	64～68	66	42～47	45	0.01～0.05	0.02
隠樹建築事務所前	127～253※ (6)～(18)	175※ (12)	65～70	68	43～47	45	0.01～0.05	0.02		
境港	鳥銀境港支店前	57 . 6 . 11	95～130 (4)～(17)	116 (10)	65～68	66	48～50	49	ND～0.01	Tr
	境港公民館前		85～102 (6)～(14)	97 (9)	62～67	64	43～47	45	0.01	0.01
	山陰合銀境港支店前		41～63 (1)～(5)	52 (3)	54～57	55	37～38	37	ND～0.01	Tr

※の行は、片車線のみ通過台数

※※ ND: 測定値が0.01 mg/m³未満、Tr: 平均値が0.01 mg/m³未満

4・5・6 騒音・振動調査

「低周波空気振動に関する調査」を実施中であるが、昭和57年度の調査結果の概要は表9のとおりである。これらのものについては、1/3オクターブ周波数分析を実施した。また、一部の資料を「橋梁周辺の低周波空気振動」としてまとめた(56頁)。

その他に、A町の委託により、採石場の発破による振動の影響調査を実施した。

表9 低周波空気振動および騒音調査結果の概要(昭和57年度)

項 目	低周波空気振動		騒 音		備 考
	件 数	All-Pass レベル (dB)	件 数	All-Pass レベル (dB)	
普通自動車	3	76~85	3	69~72	} アイドリング時
軽自動車	3	74~88	3	70~78	
小型ポンプ	3	68~73	2	67	} 音源より1.5mの所で測定
コンプレッサー	3	72	2	68	
真空ポンプ	2	66~72	2	72~74	
風	9	57~100	—	—	窓開、室内
雷	1	76~80	—	—	窓閉、室内
ボイラー	4	87~91	4	84~94	ボイラー室内
自動車橋横	1	69~79	1	66~80	
自動車橋下	1	69~85	1	62~71	
鉄道橋下	3	92	3	103	列車通過時ピーク
航空機	3	90	3	93	住宅地上空通過時ピーク
アスファルト工事	5	65~80	2	65~75	窓開、室内
計	41		26		

#### 4・5・7 悪臭調査

行政検査(規制8物質)、県下3市5町からの委託および自主測定146件(延項目数534)について実施した。

なお、市町村からの委託のうち、スチレンおよびアルデヒドを除く規制物質については、当研究所は県中部のみを担当した。

調査結果の概要は、表10に示すとおりであった。そのうち、し尿処理場2施設の $H_2S$ が基準値(0.02 ppm)を超えていた。



表 10 発生源別悪臭物質濃度

ppm (STP)

項目		アンモニア	メチルメルカプタン	硫化水素	硫化メチル	二硫化メチル	二硫化炭素※	トリメチルアミン	アセトアルデヒド	スチレン
鶏舎	n	5	5	5	4	4	5	5	3	
	$\bar{x}$	0.65	ND	0.0027	ND	ND	0.0001	Tr	ND	
	R	0.17~1.1		0.0006~0.0084			ND~0.0004	ND~0.0004		
豚舎	n	17	17	17	17	17	17	16	4	
	$\bar{x}$	0.21	ND	0.0010	ND	ND	0.0001	Tr	ND	
	R	ND~0.54		ND~0.0095			ND~0.0002	ND~0.0004		
牛舎	n	4	4	4	4	4	4	4	1	
	$\bar{x}$	0.32	ND	0.0005	ND	ND	0.0001	Tr	ND	
	R	0.19~0.52		ND~0.0008			ND~0.0002	ND~0.0003		
混合舎	n	7	7	7	7	7	7	7	2	
	$\bar{x}$	0.59	Tr	0.0016	ND	ND	0.0001	Tr	ND	
	R	0.15~1.0	ND~0.0015	ND~0.0074			ND~0.0003	ND~0.0004		
畜舎計	n	33	33	33	32	32	33	32	10	
	$\bar{x}$	0.37	Tr	0.0013	ND	ND	0.0001	Tr	ND	
	R	ND~1.1	ND~0.0015	ND~0.0095			ND~0.0004	ND~0.0004		
し尿処理	n	7	7	7	7	7	7	6		
	$\bar{x}$	0.33	0.0003	0.054	0.0005	ND	0.0001	Tr		
	R	0.07~0.51	ND~0.0013	0.0009~0.18	ND~0.0030		0.0001~0.0002	ND~0.0003		
ごみ処理	n	4	4	4	4	4	4	4	3	
	$\bar{x}$	0.23	ND	Tr	ND	ND	0.0001	ND	ND	
	R	ND~0.48		ND~0.0008			0.0001~0.0003			
魚肉缶詰	n	5	5	5	5	5	5	5	7	
	$\bar{x}$	0.19	Tr	0.0008	0.0024	ND	0.0001	ND	ND	
	R	ND~0.47	ND~0.0003	ND~0.0029	ND~0.012		0.0001~0.0003			
魚粉製造	n	2	2	2	2	2	2	2	5	
	$\bar{x}$	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	0.0004	ND	
	R	0.06		ND~0.0003				0.0004		
環 境	n	13	13	13	13	13	13	11	10	10
	$\bar{x}$	0.13	ND	0.0005	ND	ND	0.0001	Tr	ND	ND
	R	ND~0.34		ND~0.0027			ND~0.0003	ND~0.0003		

(注) n : 測定数、 $\bar{x}$  : 算術平均値、R : 範囲、ND : 測定値が定量限界以下  
 Tr : 平均値が定量限界以下 ※ 規制物質外

## 4・5・8 放射能調査

放射能調査の項目および対象別の測定結果の概要は、表11に示すとおりで異常値は認められなかった。なお、本年度の調査結果の詳細については、「陸水・各種食品及び土壌の放射能測定調査結果報告書(25)」に収録した。

また、放射性核種分析のため、検体を採取前処理し、日本分析センターへ送付した。(表12)

表11 放射能調査項目対象および結果

調査項目及び対象		採取地点	件数	測定値*	備考	
全 放 射 能	雨・陸水	雨水	鳥取市松並町	131	0.0~96.5 pCi/l	定時観測
		雨水・ちり	〃	12	0.1~1.37 mCi/km <sup>2</sup> /月	大型水盤法
		上水	〃	2	N.D.~2.9 pCi/l	(蛇口水)
		〃	岩美郡国府町	12	ND~5.3 〃	(原水)
	食 品	日常食	岩美郡福部村	2	0.7 pCi/g生	
		牛乳	米子市	7	0.9~1.1 〃	
		米	鳥取市	2	0.5 〃	
		野菜	岩美郡国府町	2	1.7 〃	(大根)
		〃	倉吉市北野	2	3.1~3.4 〃	(ほうれん草)
		海水魚	(境港市)	2	2.4~2.7 〃	(さば)
	そ の 他	浮遊じん	鳥取市松並町	36	0.12~2.98 pCi/m <sup>3</sup>	
		土壌	鳥取市岩倉	2	1313~1512 mCi/km <sup>2</sup>	(0~5 cm)直接法
〃		〃	2	2588~2912 〃	(5~20 cm) 〃	
核種 分析	<sup>131</sup> I	牛乳	米子市	6	ND~8.8 pCi/l生	機器分析法
	<sup>137</sup> Cs	〃	〃	6	2.2~28.5 〃	〃
空 間 線 量		鳥取市松並町	通年	12.8~34.2 cps	モニタリングポスト法	
		岩美郡国府町	12	8.4~11.9 μR/hr	サーベイメータ法	

\*食品の測定値は、Kを含んだ値

表12 送付試料

検体名		採取地点	件数	備考
雨・陸水	雨水・ちり	鳥取市松並町	12	
	上水	〃	2	蛇口水
食 品	日常食	岩美郡福部村	2	
	牛乳	米子市	2	
	米	鳥取市	1	
	野菜	岩美郡国府町	1	大根
	〃	倉吉市北野	1	ほうれん草
	海水魚	(境港市)	1	さば
そ の 他	浮遊じん	鳥取市松並町	4	
	土壌	鳥取市岩倉	2	0~5 cm、5~20 cm